



Neb:O

SafePit

セーフピット

取扱説明書

保証書付き

身長

40～105cm



i-Size 準拠



ISO FIX

R129/03

i-Size 汎用型 ISO FIX

40～105cm



目次

■ 目次	2
■ ご使用いただく前に	4
▪ 表示について	4
■ 安全にご使用いただくために	5
■ 取付けできる座席	7
■ 取付けできない座席	8
■ 梱包内容	9
■ 各部の名称	10
■ チャイルドシートの移動時の持ちかた	11
■ お子さまの身長に合わせた使用方法	12
■ サポートレッグ	
▪ 取出し方法	13
▪ 設置・調節方法	14
▪ 収納方法	14
■ リクライニングの操作方法	15
■ シートの回転方法	16
■ ISOFIX での取付け方法	
▪ 取付ける前の準備	17
▪ ISOFIX 取付け方法	17
▪ サポートレッグの設置・調節方法	19
▪ チェックリスト	20
■ ISOFIX の取外し方法	21
■ インナークッション	
▪ インナークッションの各部の名称	22
▪ インナークッションの取外し方法	23
■ 肩ベルトの調節方法	
▪ 肩ベルト・腰ベルトをゆるめる方法	24
▪ 肩ベルト・腰ベルトをしめる方法	24
■ バックルの取付け・取外し方法	25
■ ヘッドレスト(肩ベルト)の高さ調節と位置の目安	26
▪ 肩ベルト位置の目安	26
■ ベビーシートモード(進行方向後向き)の使用方法「身長 40 ～ 105cm まで」	
▪ お子さまを乗せる前の準備	27
▪ お子さまを乗せたかた	28
▪ 肩ベルトの高さ	29
▪ 肩ベルト・腰ベルトの長さ調節	30
▪ シートの回転	30
▪ 走行前のチェックリスト	31
■ チャイルドシートモード(進行方向前向き)の使用方法「身長 76 ～ 105cm まで」	32
▪ お子さまを乗せる前の準備	32

▪ お子さまの乗せかた	32
▪ 肩ベルトの高さ	34
▪ 肩ベルト・腰ベルトの長さ調節	34
▪ シートの回転	34
▪ 走行前のチェックリスト	36
■ 車両からの取外し方法	37
■ シートカバーの取外し方法	39
■ シートカバーの取付け方法	42
■ ベビーサポート・インナークッションの取付け方法	42
■ お手入れ方法	43
▪ ボディサポートクッション	43
▪ ヘッドサポートクッション	44
▪ 洗濯方法	44
▪ 各シートカバーの洗濯方法	45
▪ 本体	45
■ 製品情報	46
▪ 本体サイズ	46
▪ 材質	46
■ 保管方法	46
■ 破棄方法	46
■ 保証書	47

ご使用いただく前に

この度は「チャイルドシート SafePit F<セーフピット>」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ごさいます。

お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書をよく読み、十分に理解の上正しく使用してください。

お読みになったあとも、取扱説明書収納ポケットで大切に保管してください。

- ・本製品はチャイルドシート基準である UN ECE R129/03 に適合しており、身長 40cm ～ 105cm くらいまで（目安：新生児～年齢 4 歳くらいまで）のお子さまを対象としたチャイルドシート [i-Size 汎用型 ISOFIX] です。

上記身長範囲外のお子さまにはご使用いただけません。

- ・ ISOFIX 型チャイルドシートの取付けを許可された座席に取り付けることができます。

ただし、ISOFIX 取付けバーを装備した全てのお車に取付けられるものではありません。

車両メーカーが示す位置、車両の取扱説明書を参照してください。

車種適合表につきましては下記 URL から確認してください。

<http://www.nebio.jp/childseat/>

※車種適合表一覧は適宜更新しております。

チャイルドシートは、交通事故の場合に、お子さまの損害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは必ず保護者の方が同乗してください。

表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため、重要な事項を『危険』、『警告』、『注意』の表示にて説明しています。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分しております。大変重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠ 危険	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
⚠ 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
⚠ 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害が起こる可能性が想定されます。

安全にご使用いただくために

危険

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- ・エアバッグが装備された座席では、本製品を使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により衝撃を受け、大変危険です。
- ・使用条件に適合しないお子さまや、取付けのできない座席などでは使用しないでください。
- ・車両の座席の種類などにより、取扱説明書通りにチャイルドシートを固定できない場合は使用しないでください。
- ・お子さまがチャイルドシートの上に立ち上がったり、中腰にならないよう注意してください。
- ・ベビーシートモード・チャイルドシートモードでご使用の場合は、肩ベルトと腰ベルトが正しく装着され、左右のバックルタンクが差し込まれていることを確認してください。
- ・車に取付ける際は、車両の取扱説明書および本書・本体表示に従い正しく取付けてください。
- ・車に取付ける際は、必ず ISOFIX とサポートレッグで固定してください。

緊急時

緊急時は、保護者の方がバックル解除ボタンを押し、肩ベルト・腰ベルトを外し、すみやかにお子さまを解放し、車外に脱出させてください。

警告

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- ・シフトレバーやパーキングブレーキなど、操作に支障をきたす場合は、助手席へ取付けないでください。
- ・2ドアや3ドアの車両で後部座席に人が乗車する場合は、助手席へ取付けないでください。
- ・お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず ISOFIX で固定してください。ブレーキをかけた時など、車内に転がり、運転の妨げになることがあります。
- ・肩ベルト・腰ベルトがゆるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付いて、窒息するおそれがあります。肩ベルト・腰ベルトは正しい長さに調節してください。
- ・衝突事故や本製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- ・お子さまがバックル解除ボタンを押してしまう可能性があります。バックルタンクがバックルから外れていないことを確認してください。
- ・チャイルドシートにお子さまが座った状態で運ばないでください。
- ・短時間でもお子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また、予期せぬ事故の原因となります。必ず保護者の方が同乗してください。

**注意**

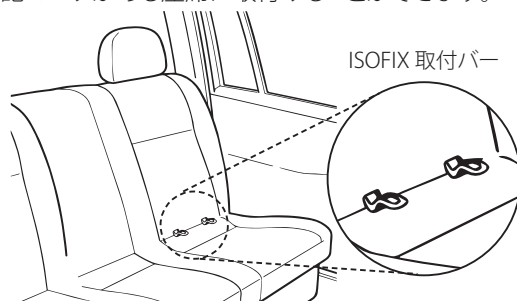
次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- 直射日光があたると、本体やバックルタンクが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。日差しが強い日は、日陰に駐車するか、チャイルドシートにカバーなどをかけてください。また、お子さまを座らせる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。
- 走行中はチャイルドシートの操作及び調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないよう注意してください。
- チャイルドシートを通常の椅子として使用すると、転倒して怪我の原因になります。本書に記載のない使い方をしないでください。
- チャイルドシートを車のシート可動部や、ドアなどにはさまないよう、十分注意してください。
- チャイルドシートの改造や不当な修理は絶対にしないでください。
- お子さまだけで乗り降りさせず、必ず保護者の方が乗せ降ろしをしてください。
- シートカバーなどの縫製部分を外したまま使用しないでください。
また、本製品以外のものと取替えたりしないでください（衝突時の安全性能に影響を及ぼすおそれがあります）。
- 車両の座席に、クッションや座布団を敷いてチャイルドシートを取付けしないでください。
チャイルドシートがしっかり固定されません。
- 座席の表皮素材（皮など）及び、形状によっては、取付けた車両の座席に傷がつくおそれがあります。
- チャイルドシートを雨風にさらさないでください。
- 固定されていない物を、車内に置かないでください。急ブレーキや衝突の際に、お子さまに当たるおそれがあります。
- 使用歴のわからない中古のチャイルドシートは絶対に使用しないでください。

取付けできる座席

より安全に使用していただくために、後部座席での使用をおすすめします。

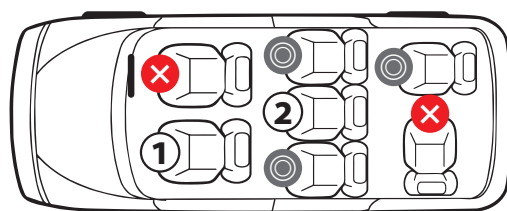
本製品は i-Size 適合、ISOFIX 対応の表記や、下記マークがある座席に取付けることができます。



ただし、ISOFIX 取付けバーを装備した全てのお車に取付けられるものではありません。

本製品は [i-Size 汎用型 ISOFIX] です。
本製品は車両の取扱説明書に表示されている i-Size 適合車両着席位置で使用するものとして UN 規則 NO.129 に従って許可されています。

- ・ 本製品の取付け方：前向き（進行方向）
本製品は以下の座席に取付け可能です。



- 正しい設置位置
- ✗ 誤った設置位置
- ① エアバッグが装備されていなければ設置可能
- ② ISOFIX 取付バーある場合のみ設置可能

取付け方法	座席条件	使用
進行方向 (前向き)	前座席：エアバッグを装備していない	取付け条件が満たされれば、取付けは可能ですが、本製品は運転席より後ろの座席に取付けることをお奨めします。 やむを得ず、前座席に取付ける場合は座席シートを一番後ろに下げた状態で取付けてください。
	前座席：エアバッグを装備している	
	後部座席の両側の座席	取付け条件が満たされれば取付け可能です。
	後部座席の真ん中の座席	取付け条件が満たされれば取付け可能です。
	進行方向に対して横向きの座席	取付け不可
	進行方向に対して後ろ向きの座席	取付け不可

取付けできない座席



注意

下記条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席への設置・使用は不可

※下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかりと固定できない場合は設置・使用をしないでください。

- フロントエアバッグ装備の座席。
※サイドエアバッグのみの場合は使用可能です。
- 進行方向に対して、横向きまたは後ろ向きの座席。
- 座面の形状に高低差があり、取付けた際に不安定になる座席。
- 極端なバケットシート。
※座面の中心部分が深く凹んでいる座席。
- 座席の凹凸が極端で、取付けた際に不安定になる座席。
- 座席以外のピラーやドアなどの車両構造物に本製品が接触する座席。



ポイント より安全に使用していただくために、後部座席での使用をおすすめします。



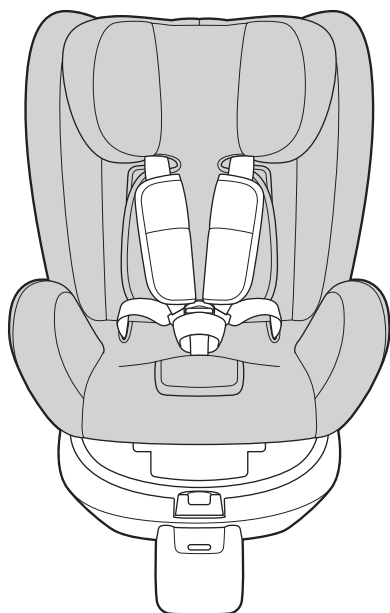
注意

本革の座席に使用すると、取付け跡が残る場合があります。

梱包内容

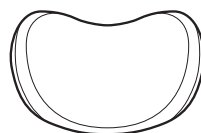
生産工程上、小さな樹脂片が本体内部に残り、傾けるとカラカラと音がする場合がありますが、使用・構造上の安全性に問題はありません。安心してご使用ください。

本体

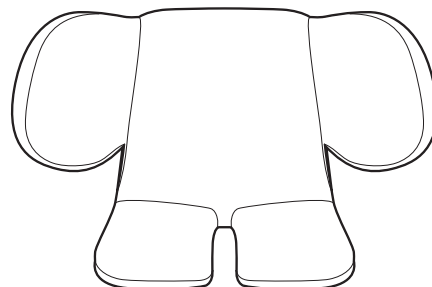


インナークッション

※本体に付属されています



ヘッドサポートクッション



ボディサポートクッション

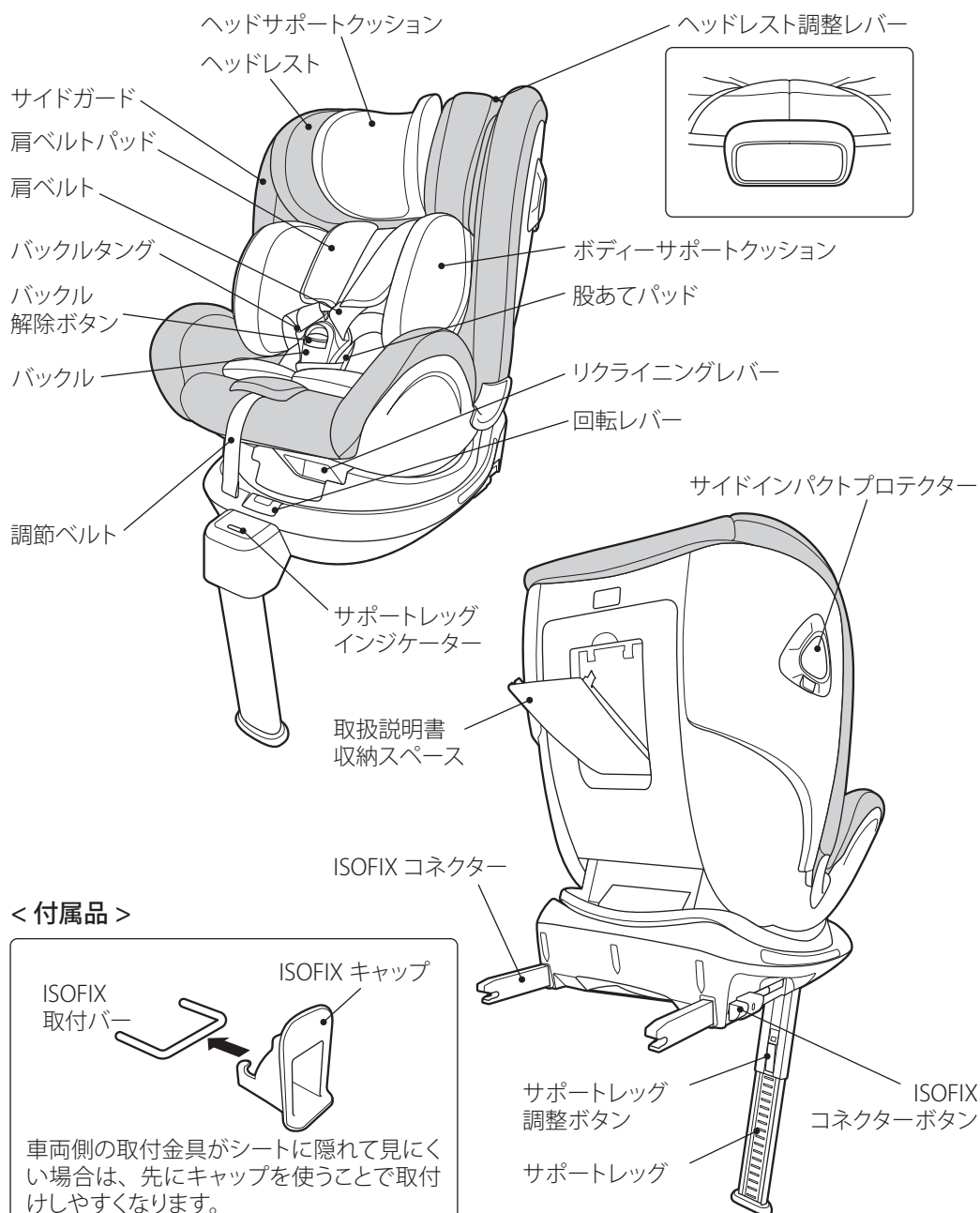


ISOFIX キャップ × 2

《5点式ハーネスとは》

【肩ベルト】・【腰ベルト】・【バックル】をまとめて5点式ハーネスと呼びます。

各部の名称



チャイルドシートの移動時の持ちかた

警告

- ・持ち運びの際は、周囲に注意し物などにぶつからないよう注意してください。
※サポートレッグが不意に開いたり伸びたりし、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・サポートレッグや、回転レバー付近は持たないでください。
思わぬ事故につながるおそれがあります。

持ち運びの際は、【サイドガード下部付近】と【ベースの後方中心部分】を持ってください。



注意

上記以外の部品を持つと、破損や落下の事故につながるおそれがあります。

警告

お子さまを乗せた状態で、持ち運ばないでください。
お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまの身長に合わせた使用方法

※本製品は 360 度回転する、子ども用拘束チャイルドシートです。

ECE R129/03 に合格

モード	ベビーシートモード	チャイルドシートモード
使用の条件	身長：40 ～ 105cm	身長：76 ～ 105cm 体重：18kg 未満 月齢：15 ヶ月以上
使用の状態		
取付け方法	ISOFIX + サポートレッグ + 5 点式ハーネス	
取付け方向	進行方向後向き ※身長 76cm 未満のお子さまは、必ず全てのインナークッションを使用してください。	進行方向前向き ※インナークッションは使用しないでください。
 警告 お子さまの月齢が 15 ヶ月を超え、尚且つ身長が 76cm 以上になるまでは、進行方向前向きで使用しないでください。		



危険

本製品のインナークッションは、誤った取扱いをすると本来の機能をはたさず大変危険です。
必ず本書の P22 (インナークッション) を確認し正しく使用してください。



注意

取外したインナークッションは車内に放置しないでください。
車内に転がって運転の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

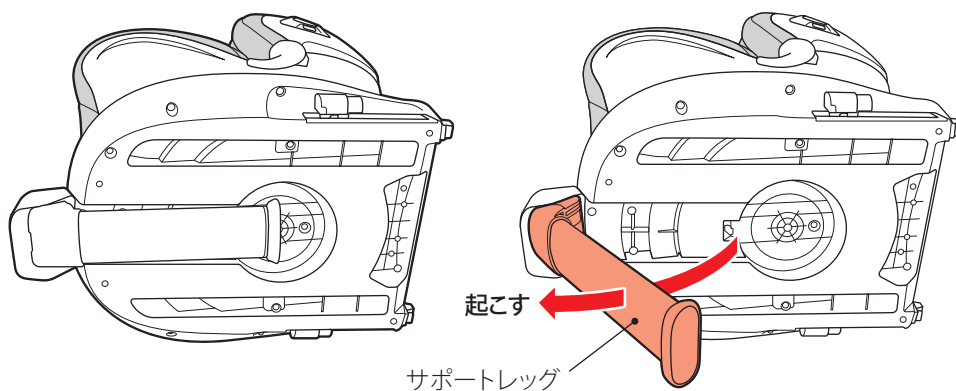
サポートレッグ

取出し方法

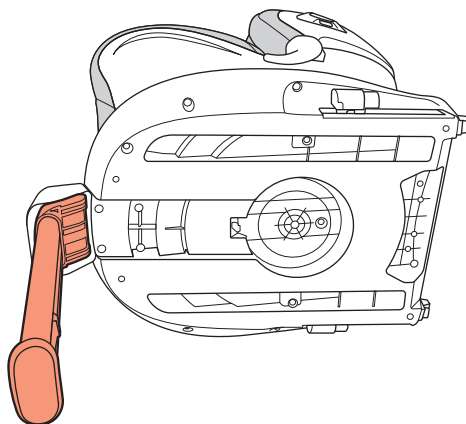


▶ 動画で解説
サポートレッグ
の取出し方法

- ①周囲の安全を確認し、広いスペースに本体を横に寝かせてください。 ②サポートレッグを起こしてください。



- ③サポートレッグが完全に起きた状態になっていることを確認してください。



注意

手や指などをはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

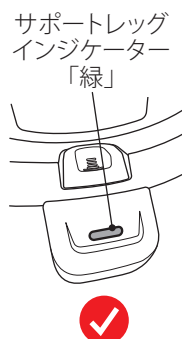
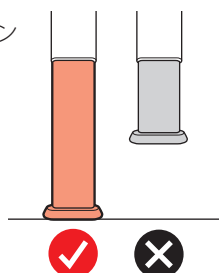
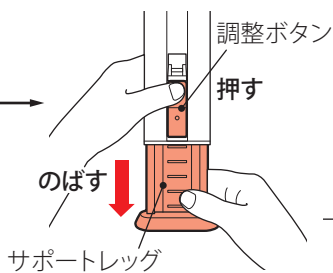
設置・調節方法



動画で解説
サポートレッグ
の取出し方法



- ①サポートレッグ裏側にある調節ボタンを押しながらサポートレッグをのばしてください。
- ②車両の床面に接するまでのばします。
- ③車両の床面に接地完了すると、サポートレッグインジケーターが「赤」⇒「緑」にかわります。



⚠ 危険

必ずインジケーターが「緑」になるようサポートレッグを調節してください。

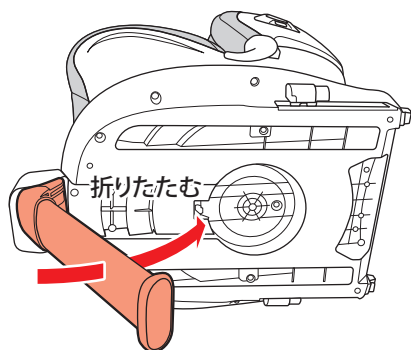
⚠ 警告

飲食物やゴミなどが入りサポートレッグの調節ができない場合は本製品の使用をしないでください。本来の機能をはたさず大変危険です。

収納方法



動画で解説
サポートレッグ
の取出し方法



- ①サポートレッグの調節ボタンを押しながらサポートレッグを短くしてください。
- ②サポートレッグを本体裏側に折りたたんで収納してください。

⚠ 注意

手や指などをはさまないように注意してください。けがをすることがあります。

リクライニングの操作方法

本製品はお子さまの成長に合わせて、《前向き 4 段階》《後向き 1 段階》で角度を調節することができます。

- ①座席前方の裏側にあるリクライニングレバーを手前に引きながらシートのリクライニング角度を調節してください。

＜後向きでの使用＞

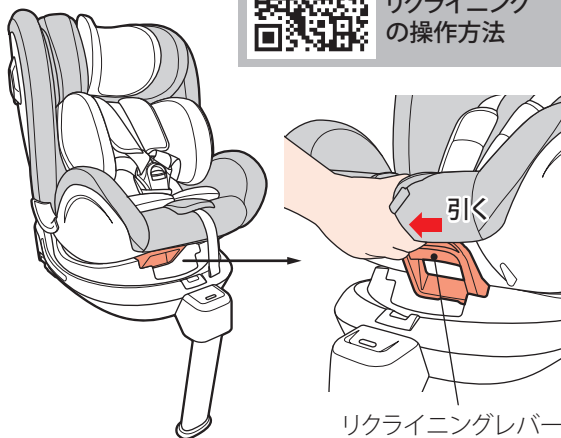
リクライニングは必ず一番倒した状態で使用してください。

一旦前向きでリクライニングを「4」の位置にあわせてから、本体を後向きに回転させてください。回転後は、自動的に進行方向後向き「5」の位置にセットされます。

後ろ向きでご使用の際は、リクライニング角度を必ず「5」の位置に合わせてください。



動画で解説
リクライニング
の操作方法



警告

操作後、シートが固定されていることを確認してください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)



注意

- ・リクライニング操作時は、お子さまの指や手を近づけないよう十分注意してください。指や手がはさまれ、けがををするおそれがあります。また、同乗者の手元も同様に十分注意してください。
- ・ゴミや飲食物が入ると故障の原因になります。

進行方向後向き	進行方向前向き			
身長 40 ～ 105cm	身長 76 ～ 105cm			
5	1	2	3	4



注意

お子さまの身長が 76cm 未満の場合は、絶対に進行方向前向きで使用しないでください。必ず【進行方向後ろ向き】で使用してください。

シートの回転方法

本製品はお子さまの乗せ降ろしをしやすいするため、シートを回転させることができます。



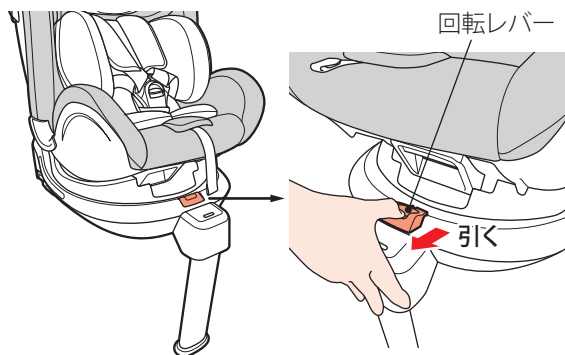
動画で解説
シートの
回転方法



ポイント

シートの回転時に車両シートが干渉して回転しづらい場合は車両のシートを干渉しない程度に倒してから回転してください。

- ① 図のように回転レバーを手前に引きながら座席を回転させてください。
- ② 動きはじめたら回転レバーから手を離し、「カチッ」と音がしロックされる位置まで座席を回転させてください。
- ③ ロック音がし回転が完了したら、必ずシートを左右にゆすり固定されていることを確認してください。



⚠ 危険

- ・ お子さまが乗った状態で回転される場合はゆっくりと回転させてください。
- ・ 進行方向後向き・進行方向前向きでの使用にはそれぞれ、身長制限があります。ご使用前に必ず条件を確認してください。

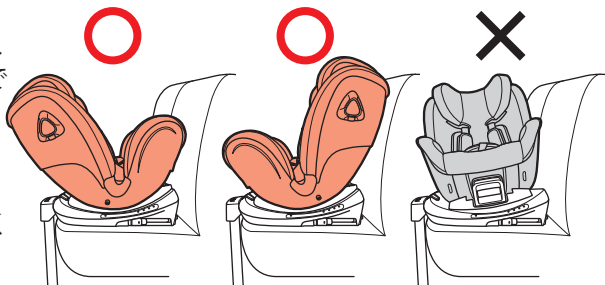


ポイント

90度回転（進行方向横向き）は、お子さまの乗せ降ろしの際に使用してください。

⚠ 警告

- ・ シートを横向きにしたまま走行しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。
- ・ 走行中は回転操作を絶対にしないでください。



⚠ 注意

回転操作時はお子さまの指や手などを近づけないよう十分注意してください。指や手などがはさまれ、けがをするおそれがあります。また、同乗者の手元も同様に十分注意してください。

ISOFIX での取付け方法

取付ける前の準備

サポートレッグを起してください(P13 参照)。

 **ポイント** ※設置・調節は ISOFIX 取付け後にします。

車両側ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートが正しく取付けられない場合は、車両側ヘッドレストを最上段に固定するか、車両側ヘッドレストを外してください。



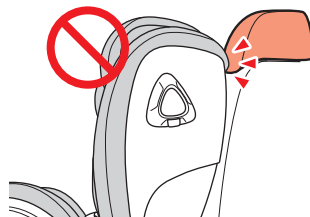
注意

取外したヘッドレストは車内に放置せず、トランクルーム等で保管してください。
※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。



警告

車両側のヘッドレストが本製品に干渉した状態で取付けないでください。
※本製品が確実に固定できず、衝突時の安全性に影響を及ぼすおそれがあります。



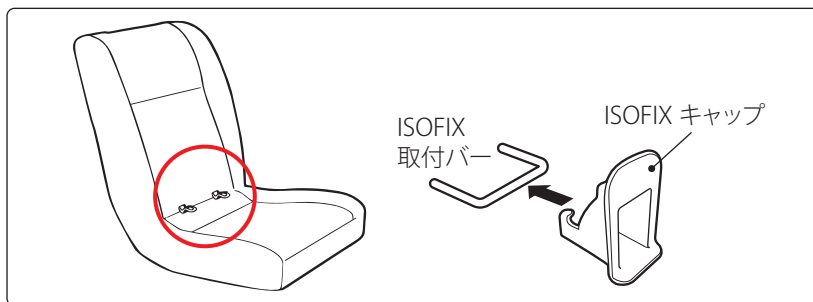
ISOFIX 取付け方法

①車両側の ISOFIX 取付けバーの位置を確認してください。



動画で解説

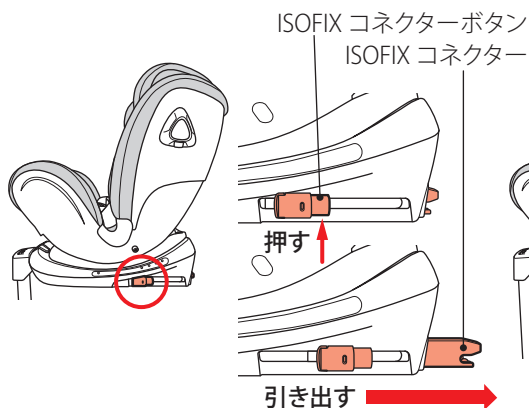
ISOFIX の
取付け方法



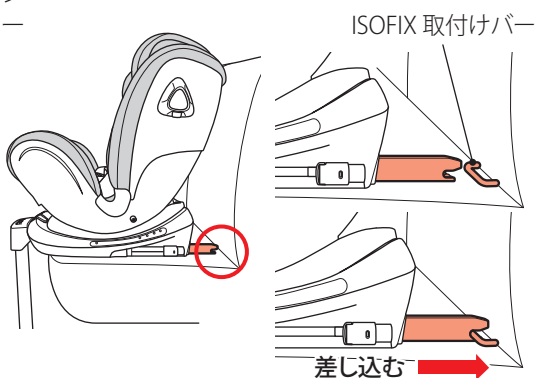
 **ポイント**

ISOFIX 取付けバーが車両シートにかくれて見えにくい場合は、付属の ISOFIX キャップを使用することでチャイルドシートが取付けやすくなります(図参照)。
※車のシートによっては ISOFIX キャップが取付けられない場合があります。
その場合は、ISOFIX キャップを使用せずにチャイルドシートを取付けてください。

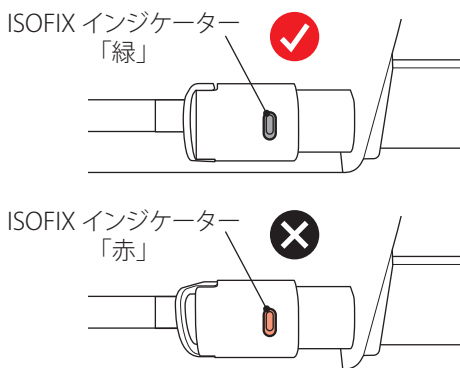
- ② ISOFIX コネクターボタンを押してコネクターを最大限まで引き出してください。



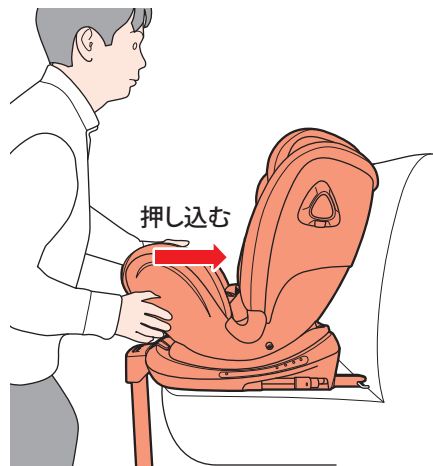
- ③ ISOFIX コネクターを車両側の ISOFIX 取付けバーに2本同時に「カチッ」と音がするまで真っ直ぐ差し込んでください。



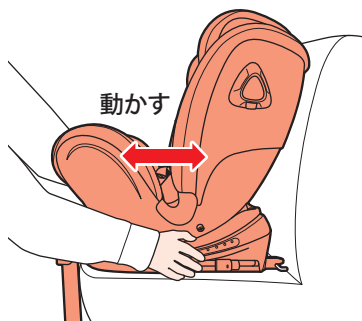
- ④ ISOFIX インジケーターが2本とも「緑」になっていることを確認してください。



- ⑤ 「カチッ」と音がしなくなるまで車両シート側へ密着するようしっかり押し込んでください。



- ⑥ チャイルドシート本体の左右を持ち前後に動かして、車両シートに固定されているか確認してください。



警告

チャイルドシートの左右を持ちながら、チャイルドシート本体が車両背もたれに接するまで強く押し込んでください。※「カチッ」と音がしなくなるまで車両シート側へしっかりと押し込む。

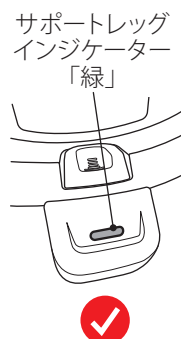
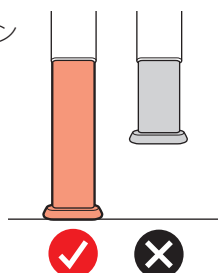
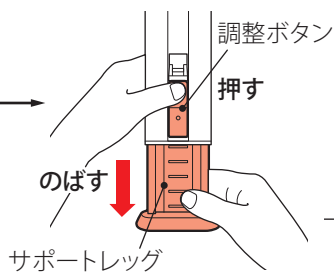
サポートレッグの設置・調節方法



動画で解説
サポートレッグ
の設置・調整方法



- ①サポートレッグ裏側にある調節ボタンを押しながらサポートレッグをのばしてください。
- ②車両の床面に接するまでのばします。
- ③車両の床面に接地完了すると、サポートレッグインジケーターが「赤」⇒「緑」にかわります。



警告

必ずインジケーターが「緑」になるようサポートレッグをのばしてください。

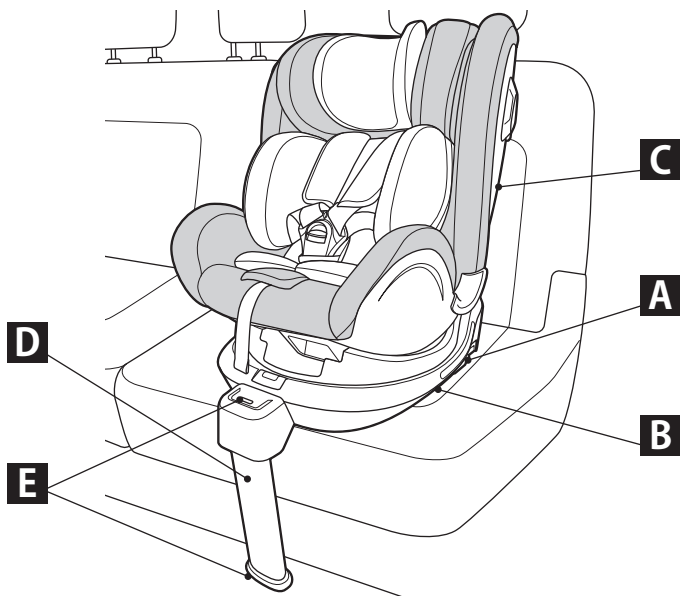


危険

安全のため、走行中にお子さまが乗っていない場合も、必ず ISOFIX や車両シートベルトで固定してください。

チェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■

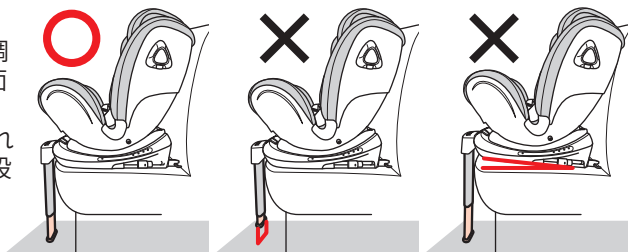


チェックリスト

- ☐ **A** ISOFIX コネクターが車両側の ISOFIX 取付けバーに固定され、ISOFIX インジケーターが 2 本とも緑になっていること（「カチッ」と音がしなくなるまでしっかりと押し込む）。
- ☐ **B** 本体底面が、しっかりと座面に接していること。
- ☐ **C** 本体のシートバックが、車両背もたれにしっかりと密着していること。
- ☐ **D** サポートレッグが完全に起きた状態で固定されていること。
- ☐ **E** サポートレッグが床面に接地し、サポートレッグインジケーターが「緑」になっていること。

⚠ 危険

サポートレッグを調節する際、本体底面は座面にサポートレッグは床面にそれぞれ接するように設置してください。

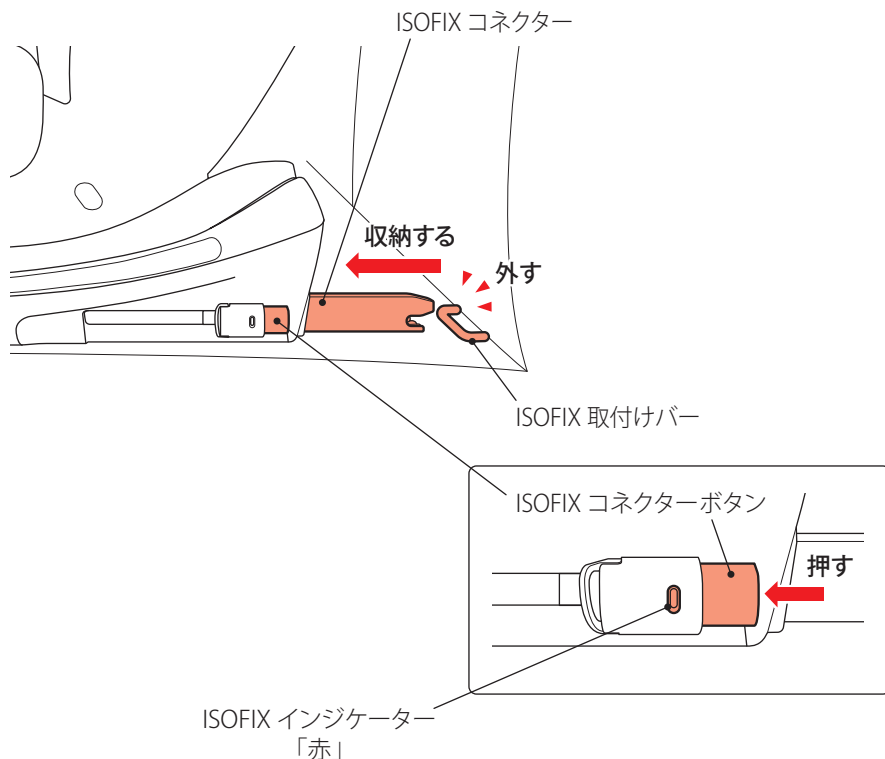


ISOFIX の取外し方法

- ①左右の ISOFIX コネクターボタンを押し、ISOFIX コネクターを車両 ISOFIX 取付けバーから外してください。
- ②ISOFIX コネクターボタンを押しながら本体側へスライドさせ、ISOFIX コネクターを収納してください。



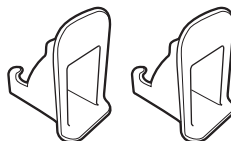
動画で解説
ISOFIX の
取外し方法



 **ポイント** ISOFIX のロックが解除されると、ISOFIX インジケーターが「赤」に変わります。

 **注意**

ISOFIX キャップはなくさないよう大切に保管してください。



インナークッション



警告

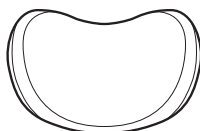
身長 76cm 未満のお子さまは、必ず全てのインナークッションを使用してください。



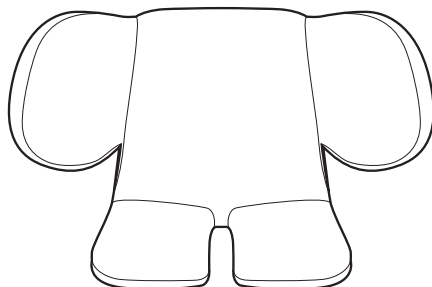
警告

身長 76cm 以上のお子さまは、インナークッションを使用しないでください。

インナークッションの各部の名称



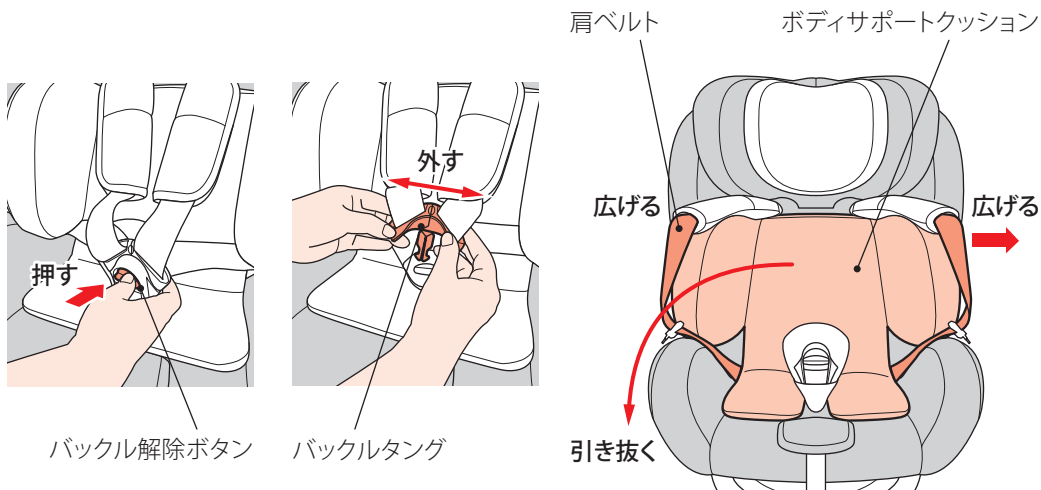
ヘッドサポートクッション



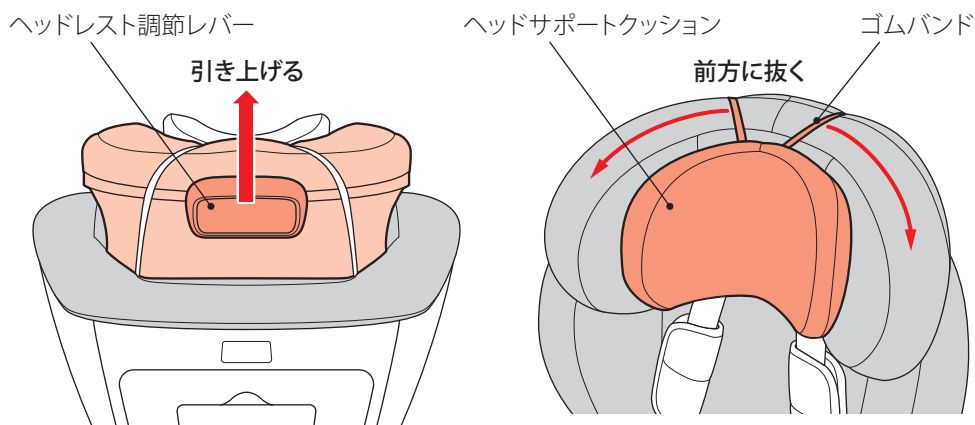
ボディサポートクッション

インナークッションの取外し方法

- ①バックル解除ボタン(赤)を押し、バックルタングを外します。
- ②肩ベルトを外側へ広げ、ボディサポートクッションを引き抜いてください。



- ③ヘッドレスト調節レバーを押しながら、ヘッドレストを最も高い位置まで引き上げます。
- ④ヘッドサポートクッションのゴムバンドを前方に抜き、取り外します。



肩ベルトの調節方法



警告

- ・かさばった服を着せたまま、使用しないでください。
- ・肩ベルトと腰ベルトを正しい位置に装着してください。



動画で解説

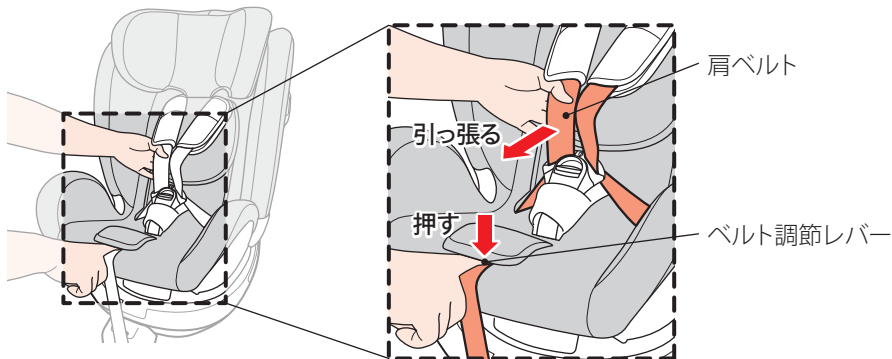
肩ベルトの
調節方法



ポイント 肩ベルトパッドを引いても肩ベルトはゆるみません。

肩ベルト・腰ベルトをゆるめる方法

①ベルト調節レバーを片手で押しながら、もう片方の手で左右の肩ベルトを引っ張ります。



肩ベルト・腰ベルトをしめる方法

①肩ベルト・腰ベルトにゆるみがないか確認し、調節ベルトを引っ張ってください。

※肩ベルトと腰ベルトのゆるみは大変危険です。
お子さまと肩ベルトのすきまは、手のひらが入る程度に調節してください。



警告

- ・必ず肩ベルトと腰ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと衝突時にお子さまがシートから飛び出すおそれがあります。
- ・肩ベルトと腰ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻き付いて窒息するおそれがあります。

バックルの取付け・取外し方法



動画で解説
バックルの
取付け・取外し方法



ポイント

- ・バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないよう安全上、固くしております。
- ・バックルタングは左右、組み合わせてからバックルに差し込んでください。組み合わせないと差し込めません。

- ①バックル解除ボタン(赤)を押し、バックルタングを外してください。
- ②お子さまをチャイルドシートに深く座らせてください。
※インナークッションをご使用の際は、インナークッションにあわせてお子さまを深く座らせてください。
- ③お子さまの左右の腕を肩ベルトに通します。



注意

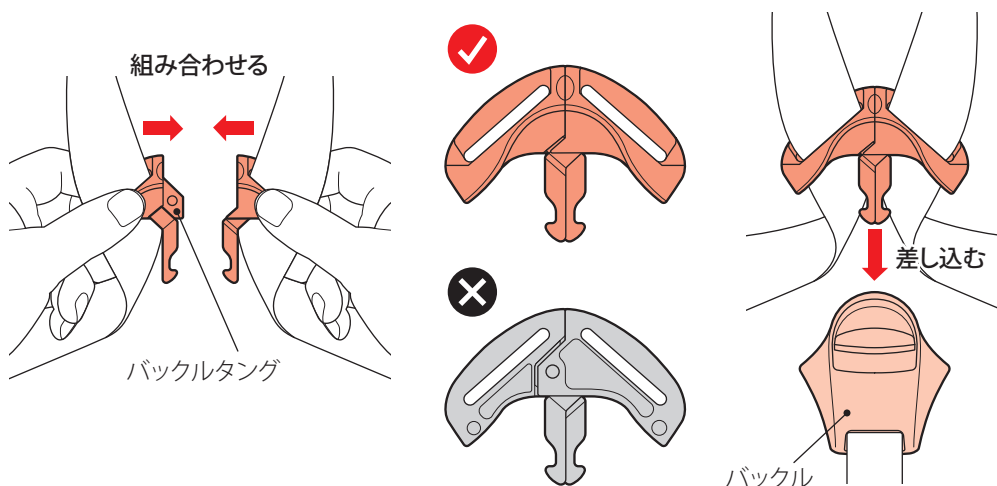
左右の肩ベルトがねじれていないことを確認してください。

- ④左右のバックルタングを組み合わせてください。※組み合わせの向きにご注意ください。
- ⑤組み合わせてから「カチッ」と音がするまでバックルに差し込んでください。



注意

バックルタングを差し込む際、股あてパッドが挟まっていないか確認してください。



ヘッドレスト(肩ベルト)の高さ調節と位置の目安



動画で解説
ヘッドレストの
高さ調節



ポイント

ヘッドレストの調節は肩ベルトをゆるめてから行う必要があります。
※肩ベルトの調節は、P24 を参照してください。

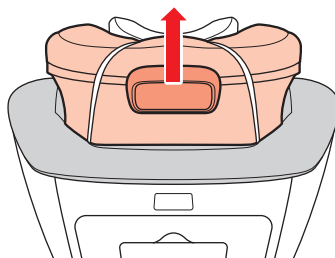
ヘッドレストの位置は 5 段階で調節可能です

①ヘッドレストを高くする準備として肩ベルトをゆるめてください(P 24 参照)。

※肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトはゆるみません。



②ヘッドレスト調節レバーを引き上げて肩ベルトを正しい高さに調節してください。



③適切な位置でヘッドレスト調節レバーから手を離してください。

④ヘッドレストを上下に動かし、固定されていることを確認してください。



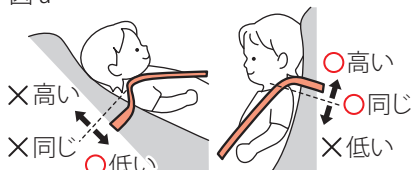
注意

ヘッドレストと肩ベルトの高さは進行方向によって異なります。肩ベルトは図 a の位置を目安に調節してください。

肩ベルト位置の目安

ヘッドレストを適切な位置に調節してください。
その目安はお子さまの肩とヘッドレストのすきまに指一本くらいとなります。

図 a



ベビーシートモード(進行方向後向き)の使用方法「身長 40 ～ 105cm まで」



警告

お子さまの月齢が【15 ヶ月】を超え、尚且つ身長【76cm】以上になるまでは、必ず進行方向後向きで使用してください。



動画で解説
ベビーシートモード
の使用方法

使用条件

- ・ お子さまの身長が 76cm になるまでは必ず進行方向後向きで使用してください。
- ・ お子さまの体格が合えば、身長 105cm まで進行方向後向きで使用可能です。
- ・ 身長 76cm 未満のお子さまは「全てのインナークッション」を使用してください。

お子さまを乗せる前の準備



警告

本製品は、必ずお車のシートに取付けてからお子さまを乗せてください。※お子さまを乗せた状態で、お車に取付けをしないでください。お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

- ①「全てのインナークッション」がついているか確認。
- ②本製品が正しくお車に取付けできているか確認。

- ☐ ISOFIX コネクターは「緑」の表示で、しっかり奥まで差し込んでいること。
(ISOFIX の取付け方法 P 18 参照)
- ☐ サポートレッグが「緑」の表示で、正しく設置できていること。
(サポートレッグの設置・調節方法 P 19 参照)
- ☐ リクライニングの角度は【進行方向後向き】になっていること。
(リクライニングの操作方法 P15 参照・シートの回転方法 P 16 参照)

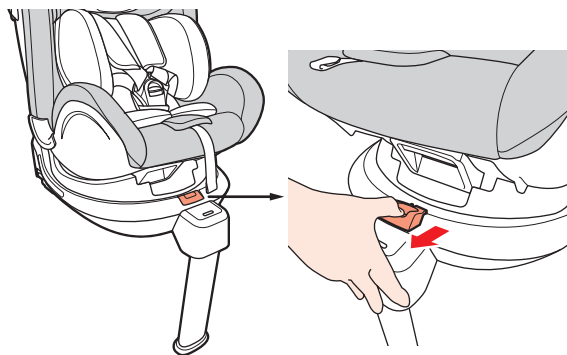


警告

お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず ISOFIX とサポートレッグで固定してください。※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

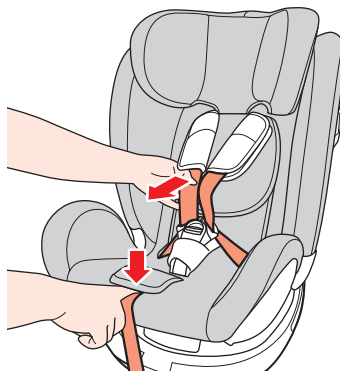
お子さまの乗せかた

- ① お子さまを乗せやすくするため、必要に応じて乗せやすい方向へチャイルドシートを回転させてください(P 16 参照)。

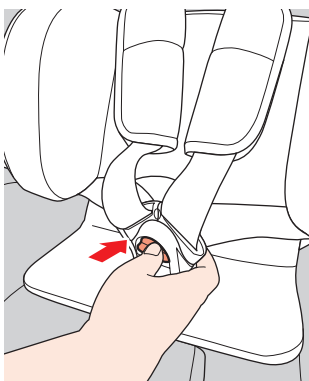


- ② 肩ベルトをゆるめてください。

※肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトはゆるみません(P 24 参照)。



- ③ バックル解除ボタン(赤)を押し、バックルリングを外してください(P 25 参照)。

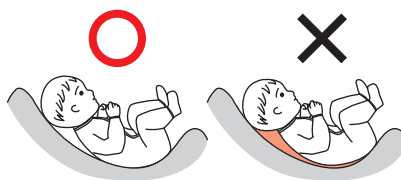


- ④ お子さまを深く座らせて、左右の肩ベルトにお子さまの腕を通してください。



⚠ 警告

お子さまを必ず、正しい姿勢で乗せてください。誤った姿勢で乗せているとお子さまを正しく固定できず、急ブレーキ時や衝突時にお子さまが本製品より飛び出し思わぬ事故につながるおそれがあります。必ず正しい姿勢で乗せてください。



⑤左右の肩ベルトにねじれがないかを確認し、左右のバックルタングを組み合わせ、「カチッ」と音が出るまでバックルに差し込んでください。

※肩ベルト・腰ベルトがきつい場合は無理にバックルを差し込まず肩ベルトをゆるめてください。



 **ポイント** バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないよう安全上、固くしております。



注意

バックル差し込み後は、必ずバックルが「緑」の表示になっていることを確認してください。

肩ベルトの高さ



警告

肩ベルトの高さ調節をおこなう際、お子さまが肩ベルトで締めつけられるおそれがあります。お子さまを乗せて高さ調節をする際は、肩ベルトにゆとりがあることを確認してから作業をおこなってください(P 26 参照)。

①お子さまを乗せてから、肩ベルトの高さを確認し、調節してください(図 a 参照)。

※調節前に肩ベルトにゆとりがあることを確認してからおこなってください。

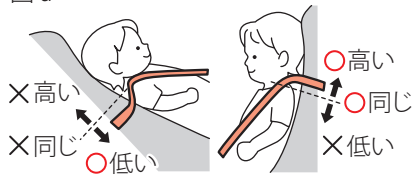


警告

進行方向後向きでのご使用時は、お子さまの肩よりも低い位置で使用してください。

※お子さまの肩より高い位置で使用されますと、お子さまが肩ベルトから抜け思わぬ事故につながるおそれがあります。

図 a



注意

お子さまを乗せた状態で肩ベルトの高さ調節をおこなう際は、お子さまの首や頭部に負担がかからないように、優しく、ゆっくりと調節をおこなってください。

肩ベルト・腰ベルトの長さ調節

- ①肩ベルトとお子さまの間に、手のひらが入る程度に長さを調節してください(P24 参照)。



⚠ 注意

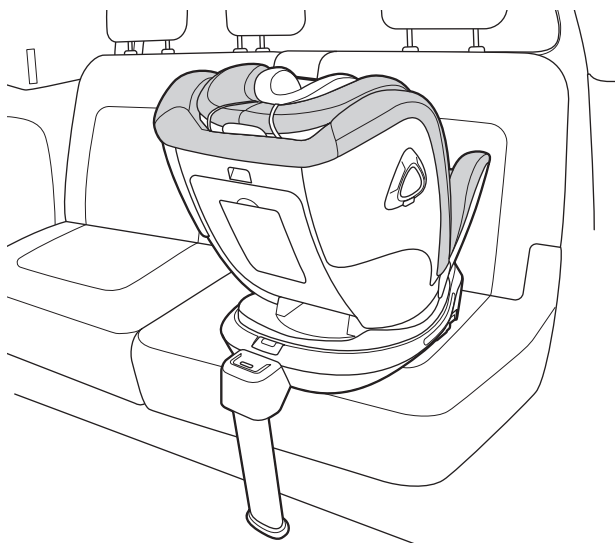
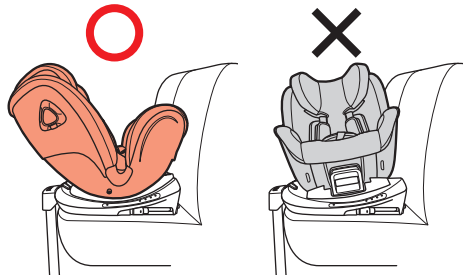
調節ベルトを引っ張る際、肩ベルトが強くなるおそれがあります。勢いよく引っ張らないようにしてください。

シートの回転

- ①チャイルドシートを進行方向後向きに回転させ、固定してください(P16 参照)。
②回転完了後、必ずシートを左右にゆすり固定されていることを確認してください。

⚠ 危険

- ・進行方向横向きは、お子さまの乗せ降ろしの際に使用してください。
- ・走行中は必ず【進行方向後向き】で使用してください。

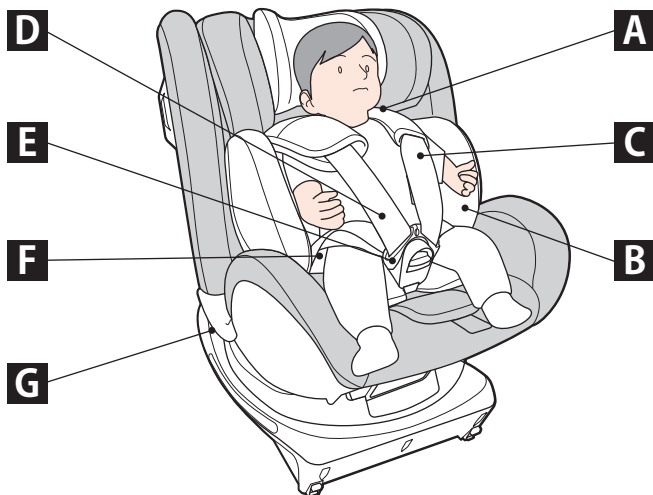


⚠ 警告

お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず ISOFIX とサポートレッグで固定してください。※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行前のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- ☐ **A** 肩ベルトが正しい位置に調節されていること。
- ☐ **B** インナークッション・ベビーサポートが正しく取付けられていること。
- ☐ **C** 肩ベルトがお子さまの体にフィットしていること(手のひらが入る程度)。
- ☐ **D** 肩ベルト・腰ベルトにねじれないこと。
- ☐ **E** 左右のバックルタングが「カチッ」と音ができるまでバックルに差し込まれていること。
- ☐ **F** お子さまが正しい位置で座っていること。
- ☐ **G** リクライニング進行方向後向き【5】になっていること。



危険

肩ベルトはお子さまの肩よりも低い位置で使用してください。お子さまが肩ベルトから抜け思わぬ事故につながるおそれがあります。



警告

身長 76cm 未満のお子さまは、必ず全てのインナークッションを使用してください。

チャイルドシートモード(進行方向前向き)の使用方法「身長 76 ～ 105cm まで」



警告

お子さまの月齢が【15 ヶ月】を超え、尚且つ身長【76cm】以上になってから【進行方向前向き】で使用してください。



動画で解説
チャイルドシートモード
の使用方法

使用条件

- ・ お子さまの身長が 76cm 以上であること。
- ・ 「全てのインナークッション・ベビーサポート」は使用しないでください。

お子さまを乗せる前の準備



警告

本製品は、必ずお車のシートに取付けてからお子さまを乗せてください。※お子さまを乗せた状態で、お車に取付けをしないでください。お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

①本製品が正しくお車に取付けできているか確認。

- ☐ ISOFIX コネクターは「緑」の表示で、しっかり奥まで差し込んでいること。
(ISOFIX の取付け方法 P 18 参照)
- ☐ サポートレッグが「緑」の表示で、正しく設置できていること。
(サポートレッグの設置・調節方法 P 19 参照)



警告

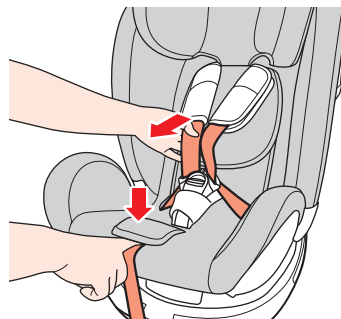
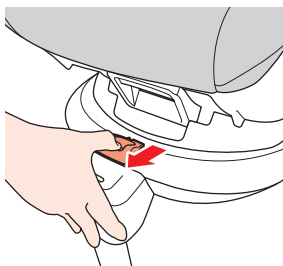
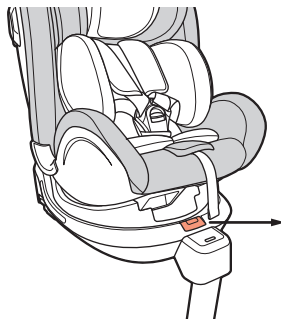
お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず ISOFIX とサポートレッグで固定してください。※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまの乗せかた

①お子さまを乗せやすくするため、必要に応じて乗せやすい方向へチャイルドシートを回転させてください (P 16 参照)。

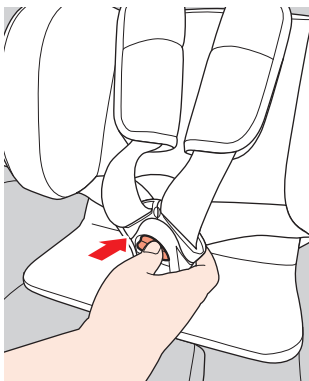
②肩ベルトをゆるめてください。

※肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトはゆるみません (P 24 参照)。



③バックル解除ボタン（赤）を押し、バックルタングを外してください（P 25 参照）。

④お子さまを深く座らせて、左右の肩ベルトにお子さまの腕を通してください。

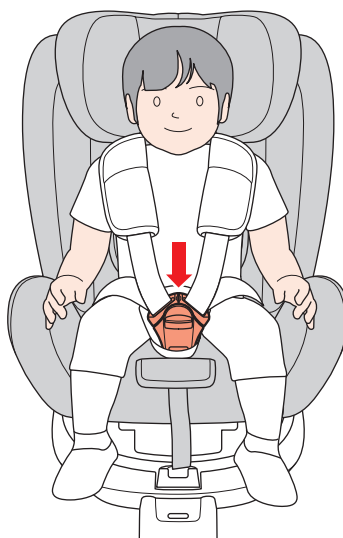


警告

お子さまを必ず、正しい姿勢で乗せてください。誤った姿勢で乗せているとお子さまを正しく固定できず、急ブレーキ時や衝突時にお子さまが本製品より飛び出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。必ず正しい姿勢で乗せてください。

⑤左右の肩ベルトにねじれないかを確認し、左右のバックルタングを組み合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込んでください。

※肩ベルト・腰ベルトがきつい場合は無理にバックルを差し込まず肩ベルトをゆるめてください。



ポイント バックル解除ボタン（赤）はお子さまの力でも外れないよう安全上、固くしております。

肩ベルト高さ

⚠ 警告

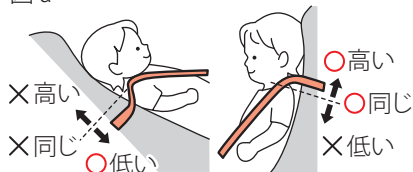
肩ベルトの高さ調節をおこなう際、お子さまが肩ベルトで締めつけられるおそれがあります。お子さまを乗せて高さ調節をする際は、肩ベルトにゆとりがあることを確認してから作業をおこなってください(P 26 参照)。

- ① お子さまを乗せてから、肩ベルトの高さを確認し、調節してください(図 a 参照)。
※ 調節前に肩ベルトにゆとりがあることを確認してからおこなってください。

⚠ 警告

進行方向後向きでのご使用時は、お子さまの肩よりも低い位置で使用してください。
※ お子さまの肩より高い位置で使用されますと、お子さまが肩ベルトから抜け思わぬ事故につながるおそれがあります。

図 a



⚠ 注意

お子さまを乗せた状態で肩ベルトの高さ調節をおこなう際は、お子さまの首や頭部に負担がかからないように、優しく、ゆっくりと調節をおこなってください。

肩ベルト・腰ベルトの長さ調節

- ① 肩ベルトとお子さまの間に、手のひらが入る程度に長さを調節してください(P 24 参照)。



⚠ 注意

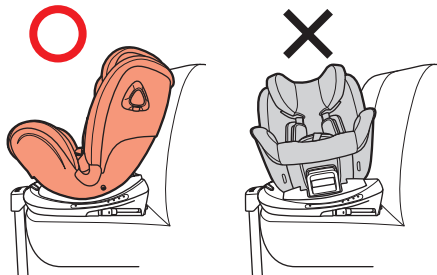
調節ベルトを引っ張る際、肩ベルトが強くなるおそれがあります。勢いよく引っ張らないようにしてください。

シートの回転

- ① チャイルドシートを進行方向後向きに回転させ、固定してください(P 16 参照)。
- ② 回転完了後、必ずシートを左右にゆすり固定されていることを確認してください。

⚠ 危険

- ・ 進行方向横向きは、お子さまの乗せ降ろしの際に使用してください。
- ・ 走行中は必ず【進行方向前向き】で使用してください。



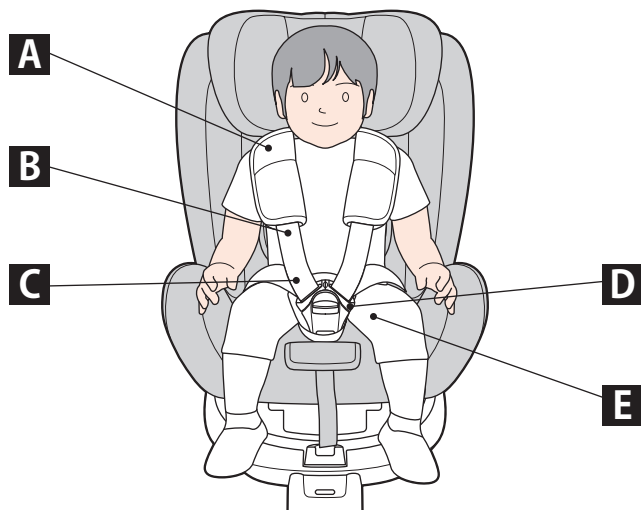


警告

お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず ISOFIX とサポートレッグで固定してください。※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行前のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- ☐ **A** 肩ベルトが正しい位置に調節されていること。
- ☐ **B** 肩ベルトがお子さまの体にフィットしていること(手のひらが入る程度)。
- ☐ **C** 肩ベルト・腰ベルトにねじれがないこと。
- ☐ **D** 左右のバックルタングが「カチッ」と音がするまでバックルに差し込まれていること。
- ☐ **E** お子さまが正しい位置で座っていること。

⚠ 警告

バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないように、ECE R129/09 の安全基準に則り固くしておりますがお子さまが成長すると、自身で外してしまうおそれがあります。バックルは絶対に触ったり外さないよう、注意してください。

⚠ 注意

・お子さまを降ろした際、必ずバックルタングはバックルに差し込んだ状態にしてください。

⚠ 危険

肩ベルトはお子さまの肩よりも高いまたは同じ位置で使用してください。お子さまの肩より低い位置でされると、装着時、不快になったり、衝撃時、肩ベルトから抜け思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 警告

インナークッションは使用しないでください。

車両からの取外し方法

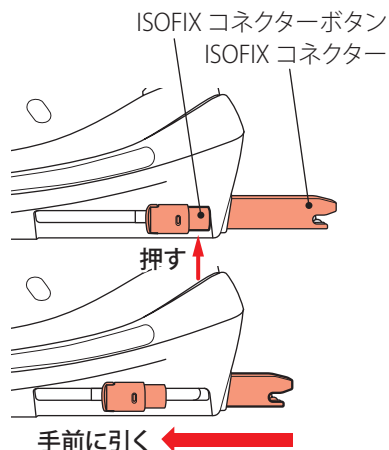
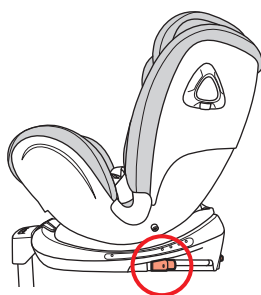
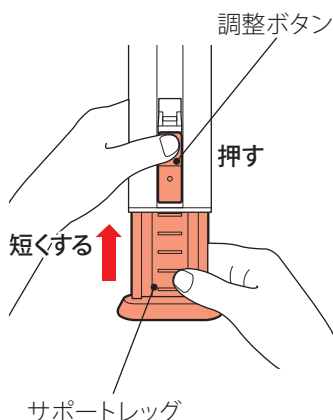


動画で解説
車両からの
取外し方法

警告

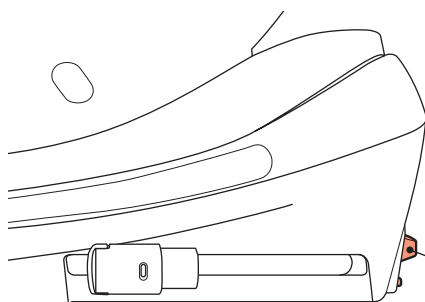
本製品は、必ずお子さまを降ろした状態で車両から取外してください。
※お子さまを乗せた状態で取外すと、お子さまが落下し重大な事故につながるおそれがあります。

- ① サポートレッグ裏側にある調節ボタンを押しながらサポートレッグを短くしてください。
- ② ISOFIX コネクターボタンを「押しながら」真っすぐ手前に引き、ISOFIX を解除してください。
※反対側も同じ作業をしてください。



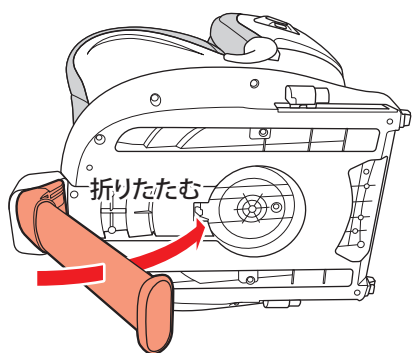
ポイント ISOFIX のロックが解除されると、ISOFIX インジケーターが「赤」に変わります。

注意



・作業が完了したら ISOFIX コネクターが完全に収納されていることを確認してください。
※収納されていない場合、破損やけがの原因となる可能性があります。

ISOFIX コネクター



③サポートレッグを本体裏側に折りたたんで収納してください。

注意

手や指などはさまないよう注意してください。けがをするおそれがあります。

警告

移動の際は必ず、サポートレッグを収納してください。サポートレッグを出したままの移動は、破損やけがにつながるおそれがあります。

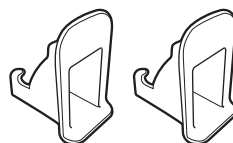
警告

- ・本製品の肩ベルトやバックルを持って持ち上げたり、移動しないでください。部品の破損や本製品の落下で、思わぬ事故につながる可能性があります。
- ・本製品を持って移動する場合は、必ず【サイドガード下部付近】と【ベースの後方中心部分】を持つようにしてください。



注意

ISOFIX キャップはなくさないよう大切に保管してください。



シートカバーの取外し方法



ポイント 全てのインナークッションを取外してから行ってください。

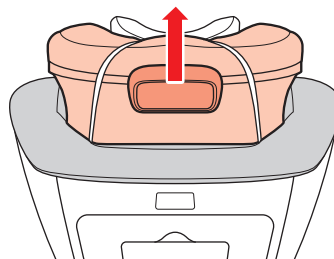


動画で解説
シートカバーの
取外し方法

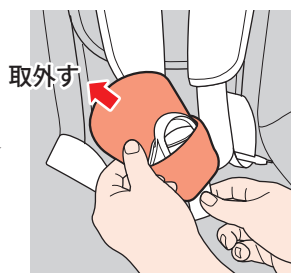
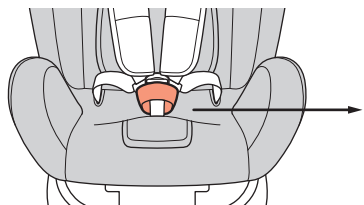
①肩ベルトをゆるめてください。



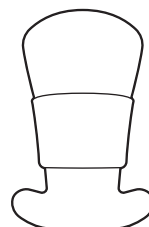
②ヘッドレストを一番高い位置まで引き上げてください。



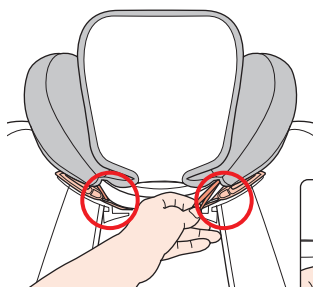
③バックルを解除し、股あてパッドを取外してください。



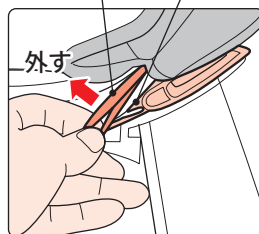
股あてパッド



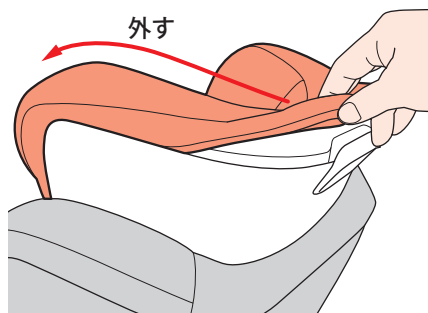
④ヘッドレストカバー下部のゴムバンドをフックから外します。



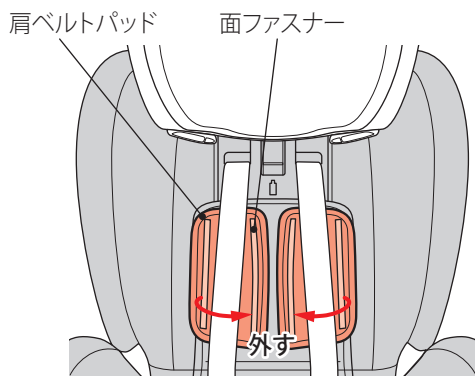
ゴムバンド フック



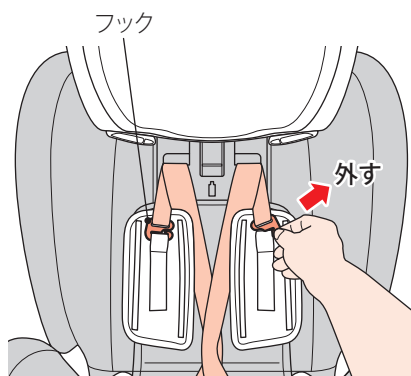
⑤溝からカバー端を外しながら、ゆっくり外してください。



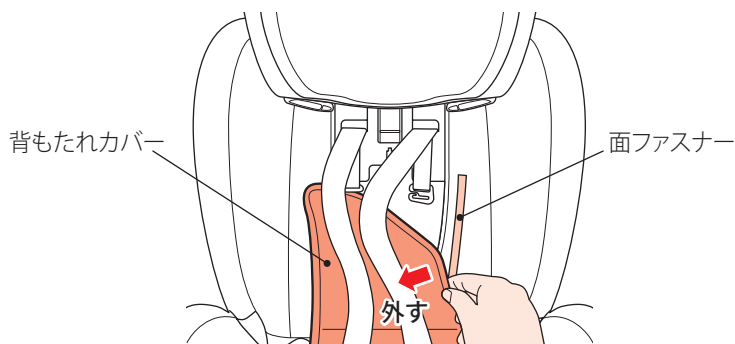
⑥肩ベルトパッドの面ファスナーを外してください。



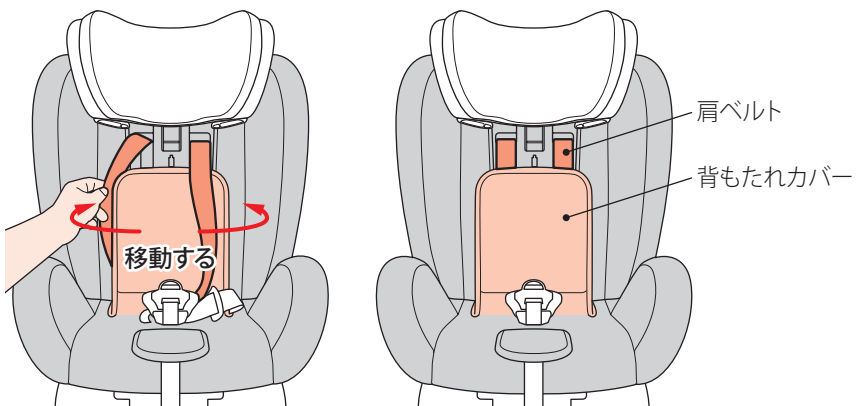
⑦肩ベルトパッド（内側）にあるフックからベルトを外してください。



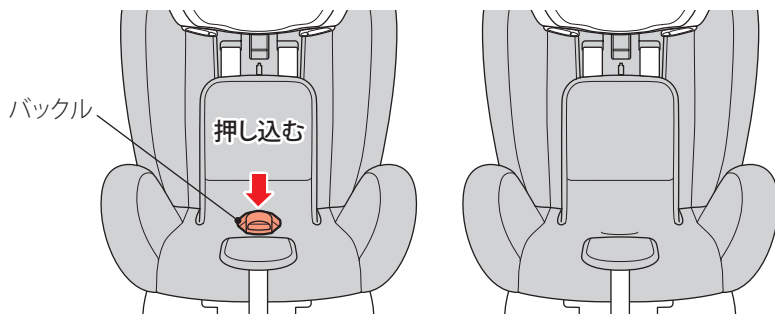
⑧背もたれカバーの面ファスナーを外してください。



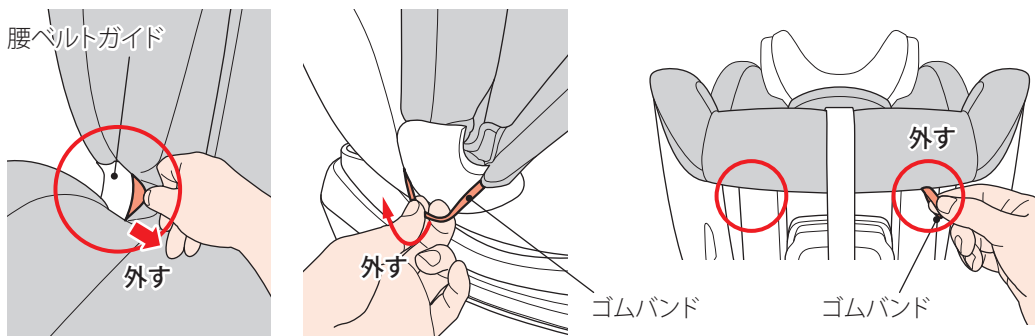
⑨肩ベルトを背もたれカバーの後ろに移動させてください。



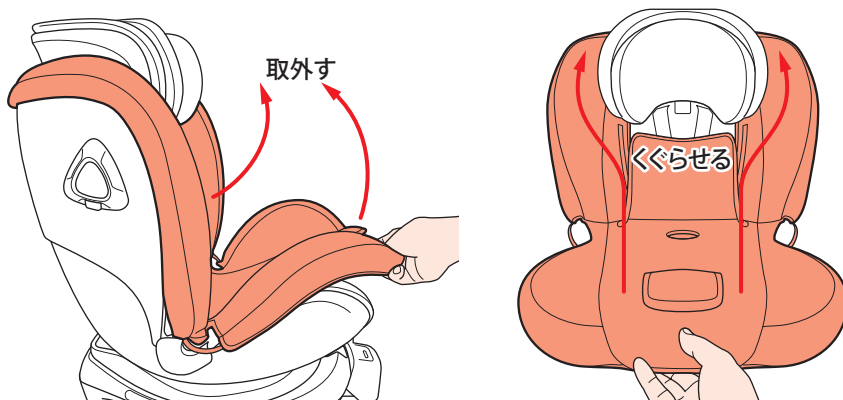
⑩バックルを隙間から下へ押し込んで入れてください。



⑪腰ベルトガイド付近のカバーを内側から外してください(外側はゴムバンドになっています)。 ⑫シート前方の裏側(リクライニングレバー付近)からゴムバンドを外してください。



⑬溝からカバー端を外しながら、シート前部から上にゆっくりカバーを取外し、ヘッドレスト部分をくぐらせながら外してください。



警告

カバーを取外す際、無理に引っ張らないでください。カバーが破れる可能性があります。また、ゴムバンドを外す際、無理に引っ張らないでください。ゴムバンドが切れる可能性があります。

シートカバーの取付け方法

シートカバーの取付けは、取外しの逆手順となります。



注意

シートカバーを取外した状態で使用しないでください。



動画で解説
シートカバーの
取付け方法

インナークッションの取付け方法

インナークッションの取付けは、取外しの逆手順となります。



動画で解説
インナークッションの
取付け方法

お手入れ方法

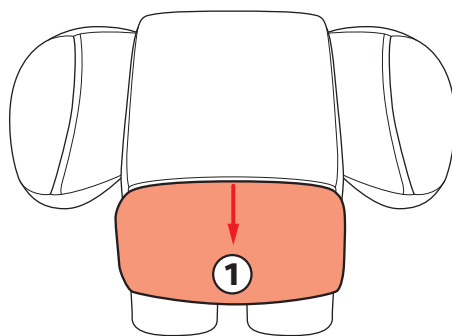
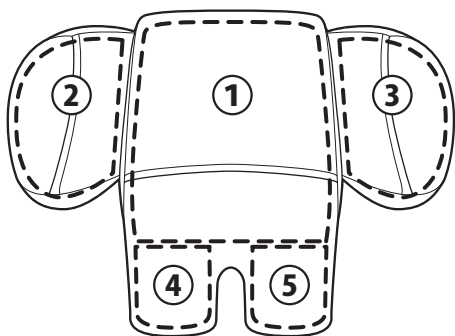
 **ポイント** インナークッションの各部の名称は(インナークッション P22)で確認してください。

ボディサポートクッション

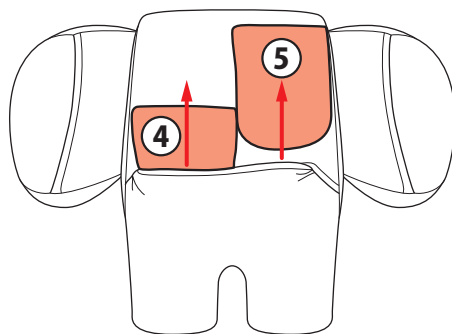
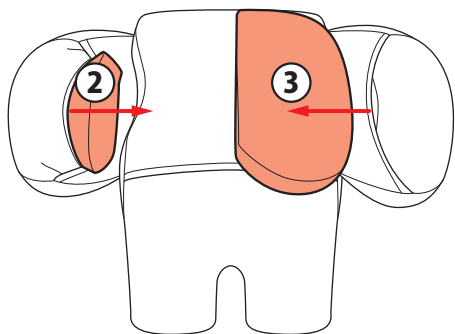


 動画で解説
ボディサポート
のお手入れ

- ①ボディサポートのクッション中材は 5 箇所取り外せます。 ②スリットからクッション中材 1 を取り出します。



- ③スリットからクッション中材 2・3 を取り出します。 ④スリットからクッション中材 4・5 を取り出します。



ヘッドサポートクッション

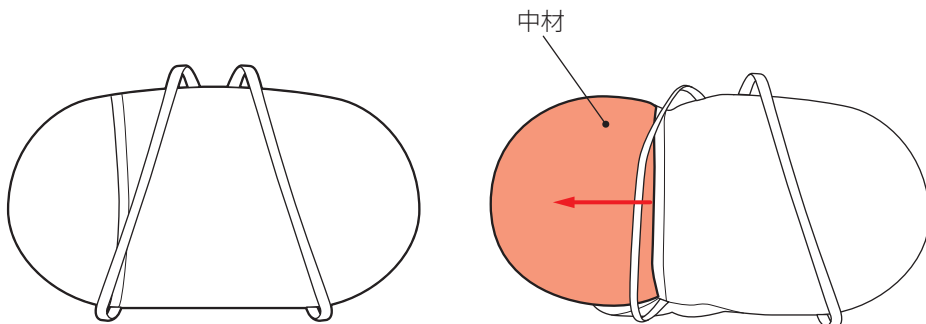


ポイント インナークッションの各部の名称は(インナークッション P22)で確認してください。



動画で解説
ヘッドサポート
のお手入れ

①スリットからクッション中材を取り出します。



注意

クッション中材を取出す際は、カバー・中材が破れないようゆっくり取出すようご注意ください。



注意

- ・クッション中材は洗濯できませんので、固く絞った布で汚れを拭き取るようにしてください。
- ・クッション中材は必ず正しい向きで使用してください。向きが異なると製品所定の安全性能が発揮できないおそれがあります。

洗濯方法



注意

本製品のお手入れは【洗濯機使用不可】です。カバーが縮む可能性があります。必ず手洗いでお手入れしてください。

カバー部分のみ洗濯可能です(必ずクッション中材を取出してから洗濯してください)。

- ・ぬるま湯と中性洗剤を使用して、必ず【手洗い】してください。
- ・洗濯後は、乾いた布などで拭き取ってから日陰で平干ししてください。



注意

- ・洗濯機は使用しないでください。
- ・洗濯時は必ずクッション中材を取出してから洗濯してください。

各シートカバーの洗濯方法



注意

本製品のお手入れは【洗濯機使用不可】です。カバーが縮む可能性があります。必ず手洗いでお手入れしてください。

- ・ぬるま湯と中性洗剤を使用して、必ず【手洗い】してください。
- ・洗濯後は、乾いた布などで拭き取ってから日陰で平干ししてください。



手洗い 30℃



漂白 NG



ドライクリーニング NG



タンブラー乾燥 NG



アイロン NG



日陰で平干し



警告

中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン・ベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。本体や、布などを痛めるおそれがあり大変危険です。



注意

カバー内の板は強くもみ洗いをすると破損する可能性があります。洗濯の際は布部分のみ、もみ洗いしてください。

本体

- ・固くしぼった布で水ぶきしてください。
- ・汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落として、水ぶきしてください。
- ・水ぶきした後は、日陰でしっかりと乾燥させてください。

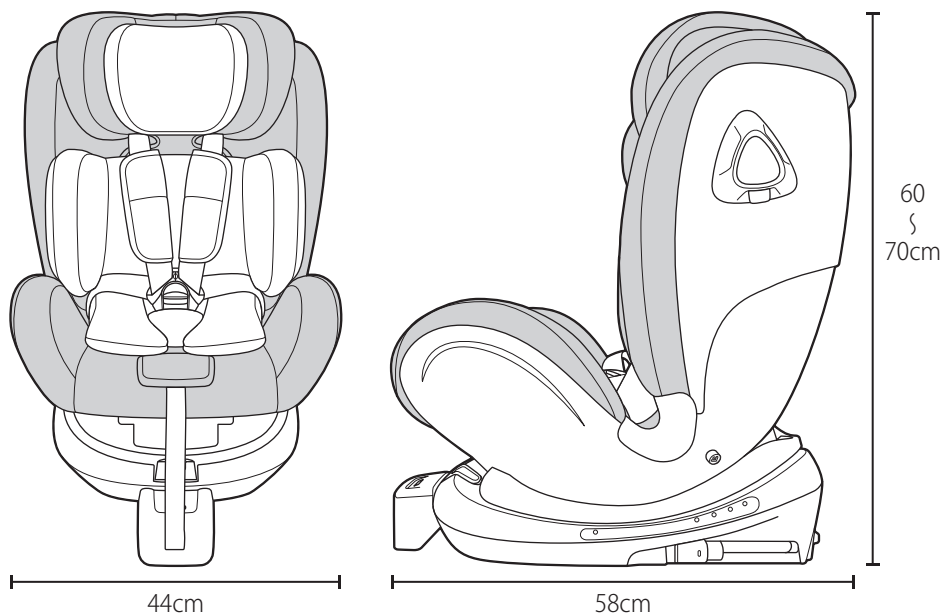
製品情報

本体サイズ

奥行き：約 58cm(サポートレッグベース含む)

幅：約 44cm

高さ：約 60~70cm



材質

本体：PP(ポリプロピレン)

カバー：PE(ポリエステル)

インナークッション：PU(ポリウレタン)

サポートレッグ：アルミ

保管方法

- ・安全で乾いた場所に保管して、熱や直射日光をさけてください。
- ・お子さまの手の届かない場所で保管してください。
- ・本製品に重いものを置かないでください。

廃棄方法

- ・お住まいの各自治体の規定に従い処分、破棄してください。
- ・衝突事故で本製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- ・再利用による事故を防ぐため、廃棄する際はシートカバーを外してから廃棄してください。